

あなたと議会

鹿沼市一般会計予算をはじめ
36議案を可決しました。



2017
195号
5月25日発行

市政を問う
議会からあなたへ



2015年 鹿沼花火大会
撮影場所：鹿沼市府中町
撮影者：阿部 秀実 議員

市政を問う

「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録について伺う



第1回定例会で17人が登壇
鹿沼市政について質問をしました。



質 問

ユネスコ無形文化遺産登録の意義と今後の展開について伺う。

答 井 (市長)

行事の保護と継承に対する支援を一層強化していく必要があると考えます。

ユネスコ無形文化遺産に登録されることによって、その保有国と国際社会は文化遺産を守るための継続的な努力をする義務が課せられます。本市としても、彫刻屋台などの修復事業や後継者育成事業など、行事の保護と継承に対する支援を一層強化していく必要があると考えます。

これまで本市では行事の保護

継承のために、彫刻屋台の修復事業費や屋台収蔵施設の建設費及び土地借上げ費などに対する補助金の交付や「鹿沼いまみや付け祭り保存会」と連携し後継者育成を目的に各種イベントや祭りへの体験参加プログラムを実施してきました。

今後本市が展開する施策については、鹿沼市第7次総合計画の中で、「ユネスコ無形文化遺産の継承」を主要事業に位置付け、屋台の保存・修復事業及び後継者育成事業、「鹿沼いまみや付け祭り保存会」への支援など、行事の保護・継承に関わる施策を展開していきます。



▲ユネスコ無形文化遺産登録記念「祝典」屋台提灯行列の様子



船生 哲夫 議員

阿部 秀実 議員

大規模太陽光発電施設建設
計画について伺う



質 問

大型開発での環境悪化に対する市の対応について伺う。

答 弁(環境部長) 早期に市独自の条例制定が必要と考え、策定作業に着手しています。

近年、大規模太陽光発電事業に伴う環境保全上の問題が全国的に広がっているため、国ではそれらに対する法令等の整備を予定しており、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法等の一部を改正する法律」(改正FIT法)が本年4月から施行されます。また、同じく本年4月

公共施設等総合管理計画について伺う



質 問

計画の進め方について伺う。

答 弁(財務部長) 施設運営状況調査を毎年度実施し、計画の進行管理に反映させていく予定です。

人口減少・少子高齢化社会や厳しい財政事情のもと、持続可能なサービスを市民に提供するため、20年間を計画期間とした「鹿沼市公共施設等総合管理計画」を平成28年3月に策定しました。本年度は策定後、初年度であることから、年度当初に市内の推進体制を構築し、施設管理に関する基本的なフローを作

から「国立公園普通地域内における措置命令等に関する処理基準」が改正されることで、太陽光発電施設に関する規制が強化されます。

このような状況において、本市では、国及び栃木県の状態を注視する中、早期に市独自の条例の制定が必要であると考え、本市の美しい自然環境、魅力ある景観及び市民の生活環境の保全と再生可能エネルギー発電事業との調和を図るため、庁内で検討委員会を立ち上げるなど、条例の策定作業に着手しています。

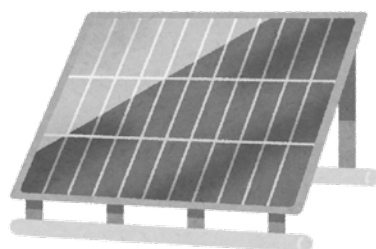
今後はこれらの法令等をもと

成しました。

また、短期検討期間、平成32年度までの施設の基本的な整備方針となる施設再編計画を全ての施設において作成するとともに、情報の一元管理・共有化のため、施設運営状況調査を実施しました。この調査は、毎年度実施し計画の進行管理に反映させていく予定です。

平成29年度は、御殿山会館別館といぬかい保育園の建物解体及び市営住宅の指定管理者制度導入に要する経費を当初予算に計上するとともに、計画の着実な推進のため、平成32年度までの5年間の重点課題を設定しま

に、大規模太陽光発電施設における環境との調和を図っていく考えです。



した。具体的には、市内に点在する空き施設の活用について、全庁的な検討を行っていきます。



▲市営住宅

こども総合サポートセンター
について伺う



質 問

開設の目的、組織構成、課題と解決策について伺う。

答 弁(市長、保健福祉部長)
長年の課題解決に向けた体制づくりができたものと自負しています。

開設の目的については、1つ目はゼロ歳から二十歳までの子供や家庭、教育及び青少年に関するワンストップの相談支援です。2つ目は、発達障がいがあるなど、支援が必要な一人の子供の成長に合わせ、切れ目なく関係機関がトータルしてサポートするシステムの構築です。このサポートセンターの開設により、長年

の課題解決に向けた体制づくりができたものと自負しています。組織構成については、「こども総合サポートセンター」は市長部局である「こども未来部」の組織として、「総合サポート係」と「こども・家庭相談係」及び「あおば園」で構成されます。教育相談は、組織的には教育委員会に位置付けますが、サポートセンターの中に設置するので、実質的には一つの組織となり、その機能がこれまで以上に発揮できるものと考えます。なお、本格的な拠点型としては、栃木県内初となります。

課題は、小学校への就学時に保育園や幼稚園からの情報が十分

十分に生かされず、就学後に支援の連携が途切れてしまうことや、保護者の理解が得られないため、支援の適切な開始時期を逃してしまうことなどです。解決策としては、出生から就労までの情報を一つのデータベースに集約し、全ての関係機関で情報を共有することや、保健師・保育士・臨床心理士・教育相談専門員などの専門スタッフがチームを組んで支援することが有効と考えられます。この総合サポートセンターが機能することにより、課題の解決を図ることができると考えます。



保育園の民間委託について伺う



質 問

保育園の民間委託について伺う。

答 弁(保健福祉部長)
各種サービスの充実や待機児童対策の効果も期待できます。

民間保育園には、国の施設整備交付金や運営給付費等があるため、公立保育園に比べて、多様な保育ニーズに比較的柔軟に対応できる条件を有しています。民営化により、ソフト面では、土曜保育の実施や開所時間の拡大などの特別保育を初めとする各種サービスの充実が期待されます。また、ハード面では、

整備交付金を活用し、定員を拡大した広い施設整備が可能であることから、待機児童対策の効果も期待できます。

こども発達支援センターあおば園は、「こども総合サポートセンター」の設置により、これまで以上の利用希望者が予想されます。本市の障がい児保育は、全ての公立及び民間保育園で通常クラスに保育士を加配することにより、健常児と障がい児が一緒に日中を過ごすインクルーシブな混合保育を適切に実施しているところと見られます。今後は、臨床心理士や言語聴覚士等の専門職の巡回指導により、障がい児

保育の更なる充実を図っていきたいと考えます。なお、環境面の整備も必要ですので、ひなた保育園の再整備とあおば園の施設については、切り離して計画した方がよいと考えます。



高齢者対策の諸問題について伺う



質 問
高齢者運転の安全対策について伺う。

答 弁 (市民部長)
危険性の確認や交通安全意識の高揚を図っています。

近年、高齢者が運転する車による大きな事故が全国で多発しており、栃木県内でも、昨年11月に自治医科大学附属病院前で高齢者運転による死亡事故が発生し、社会問題として大きく取り上げられるようになりました。本市では、高齢者に対する交通安全の取り組みとして、老人クラブや高齢者サロンなどで交通安全講習会を開催しているほ

か、高齢者ドライバー教室などに高齢者の参加を促し、危険性の確認や交通安全意識の高揚を図っています。また、本年3月12日からの改正道路交通法の施行に伴い、認知症対策が強化され、高齢者の事故防止につながるものと期待されています。高齢者事故防止の対策の一つに運転免許自主返納制度があり、鹿沼警察署管内においては、平成27年は163件、平成28年は199件の返納がありました。本市では、運転免許証を自主返納した人に対する支援として、リース・予約バスの1年間無料乗車券の交付を行っており、平成27



▲市内を走るリーバス

年度は100件、平成28年度は2月末までに115件の交付申請がありました。今後自主返納を更に促進するため、啓発活動を強化していくとともに、無料乗車期間の延長も実施していきたいと考えます。

鹿沼産材利用の新築木造住宅への助成について伺う



質 問
鹿沼産材利用の新築木造住宅助成の概要について伺う。

答 弁 (市長)
一律20万円、最大で40万円の助成を受けることができます。

助成の目的は、市民への良質な鹿沼産材、特に森林認証材の認知度アップを図り、利用促進につなげ、需要拡大と本市の林業・木材産業の活性化を図ることです。

助成の主な要件としては、自分が居住するために鹿沼産材を10立方メートル以上使用し、市内に新築する木造軸組み住宅

で、使用している木材の60%以上が鹿沼産材であるということが対象となります。助成の内容は一律20万円とし、更にその木材が鹿沼産森林認証材の場合には、使用する量に応じて20万円まで加算され、最大で40万円の助成を受けることができます。助成は、鹿沼商工会議所または栗野商工会が発行している商品券での交付といたします。

助成の効果は、地元市民への鹿沼産材の認知度アップ、森林認証材の普及と需要拡大による林業・木材産業の活性化、鹿沼商工会議所等の商品券利用による地域経済への貢献、市内に



住宅を建築する人への経済的支援、また本市への定住促進等の効果などを見込んでいます。市民が地元鹿沼産材を使ってよかった、知り合いにも勧めたいという制度にしていきたいと考えます。

鈴木 敏雄 議員

観光振興について伺う



質 問

栃木デスティネーションキャンペーンの取り組みについて伺う。

答 弁 (経済部長) ———
「本物の出会い 栃木」DC実行委員会で3市3町とともに共同事業に取り組んでいます。

本市は「本物の出会い 栃木」DC（デスティネーションキャンペーン）実行委員会における企画会議の県央地域分科会に属し、宇都宮市・さくら市・那須烏山市・上三川町・高根沢町・那珂川町とともに、平成26年度から共同事業に取り組んでいます。平成29年度はインスタグラ

ムフォトコンテストを実施する予定です。

また、本市独自の取り組みとして、2月21日に市内業者向けのDC説明会を実施し、今後意見交換会を実施するなど広く市内業者や関係団体から観光素材を集約しマッチングや磨き上げを行い、平成30年の本DCに活用できるよう支援するとともに、PR・営業活動を展開していきます。平成29年4月から始まるプレDC期間は、おもてなし向上と受け入れ体制の整備を行うとともに、市の観光施設で特別イベントを企画しています。本DCでは、広く市内業者や

DC(デスティネーションキャンペーン)とは

JRグループ6社と地域が協働で取り組む、国内最大規模の観光キャンペーンです。平成30年4～6月期のDC開催地に栃木県が選ばれました。平成28年8月に「本物の出会い 栃木」DC実行委員会が設立され「花、食、温泉、自然、歴史・文化」の5つの「本物の出会い」をテーマとしています。

関係団体に参画いただき、集中的に誘客促進を図り、翌年のアフターDCには、観光素材の定着化と持続可能な体制を確立させることを目指し、プレ・本番・アフターの3年間をしっかりと取り組んでいきたいと考えます。

島田 一衛 議員

動物愛護について伺う



質 問

犬猫殺処分ゼロを目指す取り組みについて伺う。

答 弁 (保健福祉部長) ———
栃木県との連携をより一層強化して対応していきたいと考えます。

国の「動物の愛護及び管理に関する法律」では、所有者の責務について明確に示されています。本市では全国に先駆けて、この法律をもとにした「鹿沼市ペットの管理及びペット愛護等施設の設置に関する条例」を平成18年に制定しました。不妊や去勢手術に対する助成については、栃木県内14市のう

ち9市で行っていますが、各市の担当者からは捨て犬・捨て猫に関する大きな効果がありません。感じられないと聞いています。本市も、捨て犬・捨て猫の問題を解決するため、同様の制度設計で平成29年度の予算を計上しましたが、より実効的な制度の再構築を図るため関係機関を集めた検討会を3月中旬に開催する予定です。

二次受け入れのための保護施設整備については、保護ボランティアの方々の献身的な対応については認識しており、敬意を表したいと思いますが、周辺住民との意見調整等の課題もあ

り、一元的な観点だけではなく解決できない問題です。この問題は全国共通の問題でもあるので、今後は、栃木県との連携をより一層強化して対応していきたいと考えます。



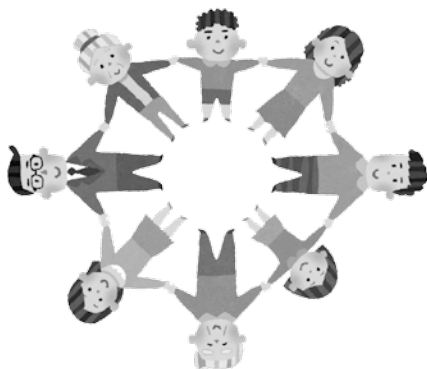
増 渚 靖弘 議員

市長の平成29年度鹿沼市
施政方針について伺う



質 問
都市間競争について伺う。
答 弁 (財務部長)
本市の強みを発信するとともに、市民協働により注目されるまちを目指していきたいと考えます。
都市間競争を市が積極的に主導する考えがあるかについて、施政方針で市長が述べたとおり、地域力が問われる時代にあつて、市民一人一人が自ら考え、主体的に行動することが重要であると考えています。持てる力を少しづつ出し合つて、地域の魅力を高め、愛着と誇りを持つるようになることが本市の地域

力を高めることにつながるから、市民協働を進めていきたいと考えています。
また、昨年は、新たな試みとして本市の特産物であるいちごに注目し、本市主導でJAかみつがとの連携のもと「いちご市」を宣言し、いちごに関連する各種施策を展開しています。
今後、本市がより発展し、魅力あるまち、選ばれる自治体となるよう、いちご関連施策や鹿沼秋まつり等、本市の強みを発信するとともに、市民協働により注目されるまちを目指していきたいと考えます。



加 藤美智子 議員

若者の集いの場の整備について伺う



質 問
若者の集いの場の整備について伺う。
答 弁 (教育次長)
「音楽スタジオ」の整備を平成29年度の早い時期に着手し、完成を目指します。
若者の集いの場として「音楽スタジオ」を鹿沼市民文化センター内の旧鹿沼地区休日夜間急患診療所の1室に整備します。国から交付される地方創生交付金を活用し、音を漏らさない「遮音効果」と美しい音を響かせる「音響技術」を融合させる音楽専用の防音室を整備する予定で

す。整備費は、改築費90万円及びドラム・ギターアンプなどの備品購入費90万円を予定しています。平成29年度のできるだけ早い時期に着手し、完成を目指します。施設は、公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団に管理を委託し、他の部屋と同様に貸し出しをしたいと考えています。
若者に魅力のあるこのような施設を整備することにより、若者の集いの場を確保するとともに、そのことが定住化にも寄与するものと考えられます。また、最近話題となっている中高年のバンド愛好者の需要などにも応

えられ、更には、お囃子会はやくしの後継者育成など多世代交流の拠点施設として活用できるものと考えています。



谷中 恵子 議員

交通リテラシーの醸成について伺う



質 問

自分の身は自分で守る意識の啓発について伺う。

答 弁(市民部長)

交通安全運動の街頭啓発広報活動等で反射材の利用啓発を行っています。

反射材の利用啓発については、交通安全運動の街頭広報活動や交通安全教室、その他交通安全に関するスポーツイベントなどの際、鹿沼警察署や交通安全協会などと協力し、反射材とともにチラシを配布して啓発活動を行っています。また、広報紙やホームページにおいても、交通安全運動を周知する際に、

反射材用品の着用の呼びかけを行っています。

歩行者が見えにくいことについての歩行者への啓発について、広報紙やホームページでの注意喚起のほか、鹿沼警察署主催のナイトスクールの実施に協力しています。内容は、日没後に車のヘッドライトを点灯し、車の前で横断する歩行者が見えなくなる、いわゆる蒸発現象の確認や反射材が遠くからでも視認できることなどを体験する交通安全教室です。本年度は、鹿沼市民文化センター、栗野コミュニティセンター、加蘇コミュニティセンターにおいて、延べ

市田 登 議員

公共施設の整備について伺う



質 問

公共施設等総合管理計画の具体的な取り組みについて伺う。

答 弁(財務部長)

平成32年度までに延べ床面積換算で68.5%の削減を目標としています。

具体的に公共施設の再編を行っているため、短期検討期間である平成32年度までの基本的な整備方針を全ての施設において策定するとともに、毎年度施設運営状況調査を実施し、PDC Aサイクルによる着実な計画の進行管理を行っていく予定です。具体的に短期における更新予定の施設としては、北犬飼

コミュニティセンターの建て替えを予定しており、地元住民の方々による建設準備委員会での意見を踏まえながら、検討を進めていきます。

また、削減予定については、平成32年度までに延べ床面積換算で68.5%の削減を目標としています。平成29年度は、御殿山会館別館及びいぬかい保育園の建物解体を予定しており、建て替え費用の削減等20年間で約18億7,000万円の削減効果があり、延べ床面積換算では0.9%の削減です。今後、計画の着実な推進のため、重点課題を設定し、全庁

100人の地域住民の方々のご参加をいただき実施しました。



▲高齢者自動車免許講習会の様子

的な検討を行ってまいります。



▲旧いぬかい保育園

鯨原 一男 議員

第7次鹿沼市総合計画について伺う



質 問
 斎場機能の充実について伺う。
答 弁(市長)
 待合室はバリアフリー化に向けた改修の取り組みを今後進めていきます。
 鹿沼市斎場は、昭和57年に整備した施設であり、現在4基の火葬炉で火葬を行っています。使用頻度は、平成28年4月から平成29年1月までの10か月間の火葬件数は989件であり、平均すると1日当たり約4件の火葬を行っています。今年で35年が経過することから、経年劣化や東日本大震災の影響により、毎年施設の修繕が必要となつていま

す。また、施設の老朽化による雨漏りなどの問題も発生しているほか、待合室は全て畳敷きのため利用者から不便であるとの声を聞いています。更に、施設の性質上、市内には代替可能な施設が存在しないことから、大規模な改修には長期的な計画と相当の予算が必要です。
 改修については、待合室は以前から洋室化の要望があり、バリアフリー化に向けた改修の取り組みを今後進めていきます。平成29年度は、火葬棟の雨漏りの改修を行う中で照明器具も改善する計画です。なお、火葬炉は、計画的に修繕を行っている



▲鹿沼市斎場の待合室

ため、特に問題は出ていません。今後も市民の皆さんの利用に影響が出ないよう、引き続き計画的に修繕をしていきたいと考えています。

赤坂日出男 議員

農業行政について伺う



質 問
 土地改良区の統合について伺う。
答 弁(経済部長)
 平成32年度を目指して統合を推進していきます。
 土地改良区の統合は、平成6年度から国の施策を受け、栃木県から市へ計画が示されました。近年は、土地改良区の体制強化のため、専従事務員を確保するよう求められています。専門の農業者が少なくなり、役員のみ手が減る中で、土地改良区が存続するためにも、事務の統一が必要であると考えています。このため、平成20年度か

ら鹿沼市土地改良事業協議会で合同事務協定を締結し、11の土地改良区の事務統一を図ってきました。更に今月行われる各土地改良区の総会において、土地改良区統合案を諮ることになっており、賛同が得られれば平成32年度を目指して統合を推進していきます。
 各土地改良区の総会で諮っていただく土地改良区統合案の賛否によっては、統合に賛同する土地改良区、解散を選択して水利組合に移行する土地改良区、現状の事務体制を維持する土地改良区に分かれていくと思われる参加する土地改良区が判



▲下沢引田土地改良区

明した後、事務量から事務局運営費などの必要経費を試算し、賦課金単価等を検討していきます。

佐藤 誠 議員

企業誘致について伺う



質 問

商業施設やビジネスホテル等の企業誘致について現状と課題を確認し、市発展の可能性を探る。

答 弁(経済部長)

進出情報の収集に努め、積極的な誘致を図っていきます。

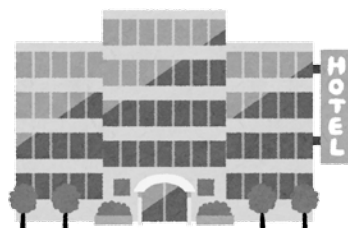
企業誘致は、本市の都市計画や総合計画などに基づき実施しています。商業施設の誘致では、市内既存商店の保護も視野に入れ、出店可能な適地への誘致を行っており、現在5社程度の進出に向けた動きがあります。特に、大型商業施設誘致における

課題としては、出店可能な適地が限定されること、新規出店の場合は、周辺の道路や生活環境の整備が必要となることなどがあげられます。

次に、ビジネスホテル等の誘致については、地元産業団地関係者などからの要望を受け、現在継続して実施しています。課題としては、特にチェーン店の場合、契約形態によりオーナーの初期投資が多大となること、チェーン店が望む場所に適地がないことがあげられます。

商業施設の誘致は、本市の魅力度アップや税収、雇用の確保においても大きな貢献をもたら

すものであり、今後も進出情報の収集に努めていきます。また、ビジネスホテルの誘致についても、来訪者の滞在に伴う市内消費の拡大、魅力度アップなどにつながるため、引き続き積極的な誘致を図っていきます。



館野 裕昭 議員

南押原地区の振興について伺う



質 問

市道0365号線について伺う。

答 弁(都市建設部長) — おおむね5か年での完了を目指していきたいと考えています。

市道0365号線は、北赤塚町地内、国道352号から藤江地区圃場整備事業地内までの延長640メートル、幅員9.75メートルの市道で、一級河川黒川にかかる新田橋の架設を伴う道路です。

平成27年度には、黒川右岸の物件補償調査を実施し、平成28年度から物件移転補償及び用地

取得に着手しました。

また、平成28年8月には、地域再生計画を作成し、内閣府の認定を受け、地方創生道整備推進交付金として新たな財源を確保したところです。

平成29年度は、引き続き黒川右岸の物件移転補償及び用地取得を実施するとともに、黒川左岸約120メートル区間の道路築造工事を予定しています。

今後の整備については、国庫補助金の確保に努めながら、おおむね5か年での完了を目指していきたいと考えています。



▲以前の新田橋

平成29年第1回 3月定例会の結果

定例会で人事等が決まりました。

人 事

(敬称略)

本会議で人事が決まりました。(議案第33号)

鹿沼市固定資産評価審査委員会委員
鈴木 健司 (すずきけんじ・宇都宮市新町)

▶用語解説「固定資産評価審査委員会委員」

固定資産を適正に評価し、市町村長が行う価格の決定を補助するための委員。固定資産の評価に関する知識及び経験を有する者のうちから議会の同意を得て市町村長が選任する。

意見書の提出

議員案として可決し関係機関に送付しました。

議員案第3号 前日光県立自然公園内「横根太陽光発電所」建設に関する規制強化を求める意見書の提出について

再生可能エネルギー利用の推進は、地球温暖化に伴う温室効果ガスを排出しないため、全国的にも利用が進んでいる。

しかし、近年、大規模太陽光発電所建設計画が、本県の県立自然公園区域内へ複数浮上し、関係市町ではその対応に苦慮していると聞いている。

鹿沼市では、前日光県立自然公園内横根高原の海拔1,200メートル付近に全国的に見ても屈指の広さの太陽光発電所の建設計画が進められている。この計画に対し、自然環境との調和や景観や生物多様性の保全などの観点から、地域住民や多くの市民団体からも心配の声があがっている。

よって、この課題に対応するとともに、再生可能エネルギーとの適切な共存を図るため、県に先導的な役割を担っていただきたく、以下の項目を早急 to 実施されるよう強く要望する。

記

1. 県立自然公園条例における規制等の見直しを図り、県内県立自然公園の自然や景観の保全を図ること。
2. 事業者等が再生可能エネルギー発電施設を導入するにあたり、施設の適正な設置と管理を促し、自然環境保全、景観の保護、災害防止、生活環境の保全等を図るための配慮事項を示した「県統一ガイドライン」を策定すること。

特別委員会の設置

定例会で特別委員会を設置しました。(議員案第2号)

委員会が付託された調査事項について、今後検討していきます。

◇市行政推進調査特別委員会 (定数23人)

委員長	船生 哲夫
副委員長	大貫 武男
委員	全議員
付託調査事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総合計画と行財政改革について 2. 保健・福祉施策の推進について 3. 産業振興施策の推進について 4. 環境対策の推進について 5. 都市計画施策の推進について 6. 教育文化施策の推進について 7. 上下水道の整備について

請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情とは、市政全般について議会に実情の善処を要望することです。

そのうち議員の紹介があるものは請願になります。

A4版、署名または記名押印して提出してください。

※注意事項

- ①鹿沼市の権限内の事務に限ります。
- ②要旨や理由は簡潔に記入してください。
- ③道路・水路等は地図または略図を添付してください。

請 願 書

件名 ○○○○について
 要旨 ○○○○の△△に関する
 ××を要望します。
 理由 □□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□

平成 年 月 日
 鹿沼市議会議長様

紹介議員 今宮 三男
 氏 名 鹿沼 太郎

請願人代表
 鹿沼市○○町○○番地○
 鹿沼 太郎 ㊞

市長提出議案33件、議員提出議案3件が提出されました。
議員数23名、表決参加議員数22名（議長は表決には加わりません。）

賛否の分かれた議案

議案1 平成29年度鹿沼市一般会計予算
(14ページをご覧ください。)

議案2 平成29年度鹿沼市国民健康保険特別会計予算
予算総額を125億1,300万円とします。

賛成

- 【公明党】 荒井正行・鈴木敏雄
- 【自民党】 鈴木 毅・市田 登・谷中恵子
津久井健吉・増淵靖弘・赤坂日出男
- 【経世会】 舘野裕昭・小島 実・湯澤英之
関口正一
- 【民進党】 島田一衛・大貫 毅
- 【無所属市民クラブ】 加藤美智子・大島久幸
大貫武男・船生哲夫
- 【無所属】 石川さやか

反対

- 【自民党】 鰐原一男
- 【日本共産党】 阿部秀実

不参加

- 【無所属】 佐藤 誠



議案16 第6次鹿沼市総合計画基本構想の廃止及び
第7次鹿沼市総合計画基本構想の策定

現行の基本構想を廃止し、平成29年度から平成33年度
までを目標年次とする新たなまちづくりの指針として、第
7次鹿沼市総合計画基本構想を策定するためのものです。

議案17 第7次鹿沼市総合計画基本計画の策定
(14ページをご覧ください。)

賛成

- 【公明党】 荒井正行・鈴木敏雄
- 【自民党】 鈴木 毅・市田 登・谷中恵子・
津久井健吉・増淵靖弘・赤坂日出男
- 【経世会】 舘野裕昭・小島 実・湯澤英之
関口正一
- 【民進党】 島田一衛・大貫 毅
- 【無所属市民クラブ】 加藤美智子・大島久幸
大貫武男・船生哲夫

反対

- 【無所属】 石川さやか・佐藤 誠
- 【日本共産党】 阿部秀実

- 【自民党】 鰐原一男



全議員が賛成した議案（可決）

平成29年度
予算

議案3 平成29年度鹿沼市公共下水道事業費
特別会計予算
予算総額を22億5,300万円とします。

議案4 平成29年度鹿沼市公設地方卸売市場
事業費特別会計予算
予算総額を1,710万円とします。

議案5 平成29年度鹿沼市農業集落排水事業
費特別会計予算
予算総額を2億2,270万円とします。

議案6 平成29年度鹿沼市介護保険特別会計
予算
予算総額を76億1,730万円とします。

議案7 平成29年度鹿沼市後期高齢者医療特
別会計予算
予算総額を10億50万円とします。

議案8 平成29年度鹿沼市粕尾財産区特別会
計予算
予算総額を543万円とします。

議案9 平成29年度鹿沼市清洲財産区特別会
計予算
予算総額を64万円とします。

議案10 平成29年度鹿沼市水道事業会計予算
収益的収入及び支出は、収入総額を14億7,936
万3千円、支出総額を14億3,086万1千円とし、資
本的収入及び支出は、収入総額を9億3,780万9千
円、支出総額を17億4,090万5千円とします。

平成28年度
補正予算

議案11 平成28年度鹿沼市一般会計補正予算
(第3号)

補正額を3,152万5千円の増とし、予算総額を
407億1,311万3千円とします。

議案12 平成28年度鹿沼市公共下水道事業費
特別会計補正予算（第3号）

補正額を3,616万2千円の減とし、予算総額を
24億7,103万8千円とします。

議案13 平成28年度鹿沼市農業集落排水事業
費特別会計補正予算（第2号）

補正額を719万5千円の減とし、予算総額を2億
1,460万5千円とします。

議案14 平成28年度鹿沼市介護保険特別会計
補正予算（第3号）

補正額を8,416万9千円の増とし、予算総額を
75億8,961万4千円とします。

議案15 平成28年度鹿沼市財産区管理区特別
会計補正予算（第2号）

補正額を174万7千円の増とし、予算総額を760
万7千円とします。



市道路線

議案18 市道路線の認定

下沢及び西沢町地内における県営土地改良（区画整理）事業に伴い、新たに築造された道路を市道として認定するためのものです。

議案19 市道路線の廃止

千渡地内における開発行為及び西沢町地内における県営西沢地区土地改良（区画整理）事業に伴い、道路形態のなくなった市道を廃止するためのものです。

議案20 市道路線の変更

千渡地内における開発行為及び西沢町地内における県営西沢地区土地改良（区画整理）事業に伴い、関係する市道の起点及び終点を変更するためのものです。

議案21 鹿沼市部設置条例の一部改正

新たにこども未来部を設置することにより、子育てに関する施策を効果的に推進するためのものです。

議案22 鹿沼市職員定数条例の一部改正

頻発する災害に適切に対処することができる体制の整備に向け、消防職員の定数の引上げ等を行うためのものです。

議案23 鹿沼市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部改正に伴い、育児休業の対象となる子の範囲の拡大等を行うためのものです。

議案24 鹿沼市一般職非常勤職員等の勤務条件に関する条例の一部改正

新たに任用する言語聴覚士の報酬の額を定めるとともに、報酬の上限額を引き上げることにより、一般職非常勤職員等の処遇改善を図るためのものです。

議案25 鹿沼市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正

配偶者同行休業の期間を再度延長することができる特別の事情を定めるためのものです。

議案26 鹿沼市特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する条例の
一部改正

新制度における農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の報酬の額を定めること等のためのものです。

議案27 鹿沼市長等の給与の特例に関する条例の一部改正

本市の厳しい財政状況を考慮し、平成29年4月から平成30年3月までの期間、市長、副市長及び教育長の給料月額について、それぞれ100分の5に相当する額を減額することにより、当面の適切な財政運営に資するためのものです。

条例の一部改正

条例の一部改正

議案28 基金の設置、管理及び処分に関する
条例の一部改正

(14ページをご覧ください。)

議案29 鹿沼市手数料条例の一部改正

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の施行に伴い、建築物エネルギー消費性能適合性判定等に要する手数料の額を定めるためのものです。

議案30 鹿沼市保育所条例の一部改正

保育園の民営化に伴い、平成29年3月をもって、いぬかい保育園を廃止するためのものです。

議案31 鹿沼市児童館条例の廃止

平成29年3月をもって、南押原児童館を廃止するためのものです。

議案32 鹿沼市保健センター条例の廃止

新庁舎の整備に向けて、既に役割を終えた本庁舎新館の保健センターとしての機能を廃止するためのものです。

条例廃止

議案33 鹿沼市固定資産評価審査委員会委員
の選任

(11ページをご覧ください。)

人事

議員案 1 鹿沼市議会委員会条例の一部改正

議員案 2 市行政推進調査特別委員会の設置
(11ページをご覧ください。)

議員案 3 前日光県立自然公園内「横根太陽
光発電所」建設に関する規制強化
を求める意見書の提出
(11ページをご覧ください。)

議員提出議案



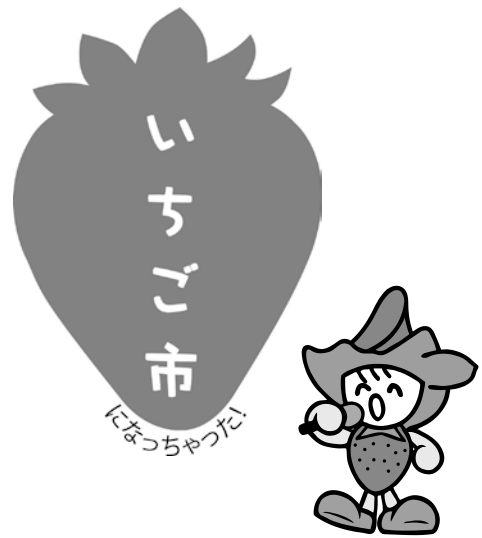
鹿沼市や私たちの暮らしに関係することが議会で決定しました！

～“いちご市”笑顔あふれる人情味のあるまち～

新年度の予算が決定しました。

■議案第1号 平成29年度鹿沼市一般会計予算について

381億5,000万円、対前年度比1.4パーセント減となっています。地域住民の主体的な活動を支援する地域の夢実現事業、花木センター観光いちご園のハウス増設や新商品開発支援等のいちご市推進事業、森林認証を取得した鹿沼産木材の活用促進、新産業団地の整備促進などを重点的に取り組むほか、新規事業として、市内小学校へのエアコン設置事業、ユネスコ無形文化遺産への登録を果たした「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」を活かしたシティプロモーションの強化、介護保険施設の整備支援、子育て世代包括支援センターの開設などに係る経費を計上し、教育、福祉の充実や都市基盤の整備促進を図ります。



～チャレンジ「15」プロジェクト～

第7次鹿沼市総合計画各論(基本計画)が策定されました。

■議案第17号 第7次鹿沼市総合計画基本計画の策定について

第7次鹿沼市総合計画総論(基本構想)に基づき、平成29年度から平成33年度までを計画期間とする第7次総合計画各論(基本計画)が策定されました。

将来都市像である「花と緑と清流のまち」「笑顔あふれる人情味のあるまち」の創造の実現を目指し、三つのまちづくりの基本目標を定め、これを柱として分野ごとに施策を体系化し、展開していくものです。

15の主要施策にちなみ、総合計画の愛称を「チャレンジ15(いちご)プロジェクト」としています。



～子どもの未来に向けて～

鹿沼市こどもみらい基金が新設されました。

■議案第28号 基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について

貧困の状況等にある子ども又はその保護者の支援を目的として、鹿沼市こどもみらい基金が新設されました。子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況等にある子ども又はその保護者を支援する事業の財源に充てるものです。

こどもみらい基金の積立金は、500万円の寄付金に市費500万円を加えた合計1千万円です。

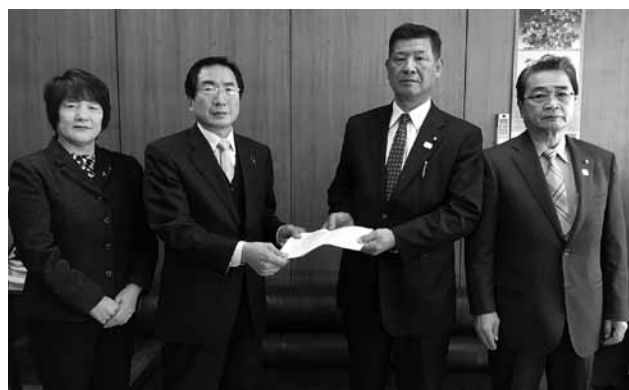


委員会等の活動報告

議会改革調査特別委員会の中間報告

本委員会は、市民に分かりやすく、開かれた議会運営を行うため、付託調査事項である「議員全員協議会・議員全員会議」、「鹿沼市議会会議規則の一部改正」及び「市長等の常任委員会への出席」について協議しましたので、その結果を平成29年3月22日に議長へ中間報告しました。

この報告した内容の実現に向けて、執行部と協議をしていきます。



全国から行政視察を受け入れています。

毎年、全国各地の地方議員の皆様が、調査・研究のため、鹿沼市を訪れています。

鹿沼市議会では、本市の特色ある施策や、施設を全国に向け発信する貴重な機会をとらえ、積極的に行政視察の受け入れを行っています。平成28年度は23県市町議会のみなさまを鹿沼市にお迎えしました。

団体	視察目的	団体	視察目的
島根県邑南町	かぬまブランド認証の取組み・ファミリーサポートセンターの状況について	栃木県高根沢町	災害時における危機管理体制について
三重県名張市	公共施設の木造・木質化について（にっこり保育園）	大分県国東市	空き家対策事業の取組みについて
佐賀県佐賀市	空き家対策について	熊本県荒尾市	鹿沼市農地再生プロジェクト「絆」について
宮城県角田市	公立保育園の民営化の取組みについて	大阪府守口市	消防団充実強化ビジョンについて
長野県飯田市	バイオガス発電事業について	青森県十和田市	消防団充実強化ビジョン
大阪府岸和田市	「木のまち鹿沼」の取組みについて	福岡県大川市	地場産業（建具関係）の振興等について 地場産業トータルサポート事業について 鹿沼Wood INFILLについて
山口県長門市	まちの駅を中心としたまちなか活性化事業について まちの駅「新・鹿沼宿」整備事業について	徳島県徳島市	まちの駅「新・鹿沼宿」について
宮城県岩沼市	政務活動費について	神奈川県大和市	「読み」のつまずき早期発見早期支援MIMについて
岡山県議会	地場産材を活用した公共施設の木造化について	山梨県大月市	麻作りについて
滋賀県東近江市	鹿沼市総合戦略及び人口ビジョンについて	京都府城陽市	土採取事業規制条例制定について
長野県富士見町	まちの駅「新・鹿沼宿」について	福島県福島市	鹿沼市の選挙啓発の取組みについて
栃木県那須烏山市	ユネスコ無形文化遺産登録に向けた観光の取組み及び本市との連携について	議員、随行併せて182名の受け入れをしました。	

議会からの お知らせ

議員写真展を開催しました。

平成29年第1回定例会（2月27日から3月22日までの24日）の期間中、本庁舎ロビーにおいて、鹿沼市議会文化・スポーツ・芸術振興議員連盟の写真展を開催しました。展示した写真は、足立区議会写真部作品展に特別参加として出展した力作20点です。

来庁者も作品の前で足を止めて鑑賞していました。



議会報告会・意見交換会を開催しました。

5月15日(月)～18日(木)の4日間、議会報告会・意見交換会を開催しました。

昨年11月の開催に引き続き、今回は7地区の皆様にご参加いただき、議会の活動等を報告するとともに、防災をテーマに活発に意見を交換しました。

議会報告会・意見交換会の内容は、次号の「あなたと議会」に掲載します。

実施日	開催地区	開催場所
5月15日(月)	南押原地区	南押原コミュニティセンター会議室
5月16日(火)	北部地区	市民情報センター子育て情報室
5月16日(火)	板荷地区	板荷コミュニティセンター会議室
5月17日(水)	東大芦地区	東大芦コミュニティセンター会議室
5月17日(水)	栗野地区	栗野コミュニティセンター会議室
5月18日(木)	加蘇地区	加蘇コミュニティセンター会議室
5月18日(木)	東部台地区	東部台コミュニティセンター会議室

議会カレンダー ～議会を傍聴しませんか～

5月	6月					
月	火	水	木	金	土	日
5/29	29	30	6/1	2	3	4
10:00 議会運営委員会						
5	6	7	8	9	10	11
10:00 本会議(第1日) 提出議案の説明						
12	13	14	15	16	17	18
		9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第3日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第4日) 議案質疑・一般質問		
19	20	21	22	23	24	25
		10:00 総務常任委員会 環境経済常任委員会	10:00 文教民生常任委員会 建設水道常任委員会			
26	27	28	29	30	31	7/1
9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第5日) 採決						

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(電話63-2203)

職場に生け花を展示しました。

第1回定例会一般質問の4日間、鹿沼市いけばな愛好会の会員の方々による作品が議場を彩りました。春の訪れを感じさせる季節感あふれる作品で、議場に春を運んでくれました。



表紙の写真は

鹿沼市議会文化・スポーツ・芸術振興議員連盟写真展に出品した中から、今回は阿部秀実議員の作品を掲載します。鹿沼さつき祭り協賛花火大会は、昨年は2015年9月の関東・東北豪雨による影響で中止となっていたため、2年ぶりの開催となります。